

令和3年度
福祉除雪事業アンケート調査結果の概要
【主要項目】

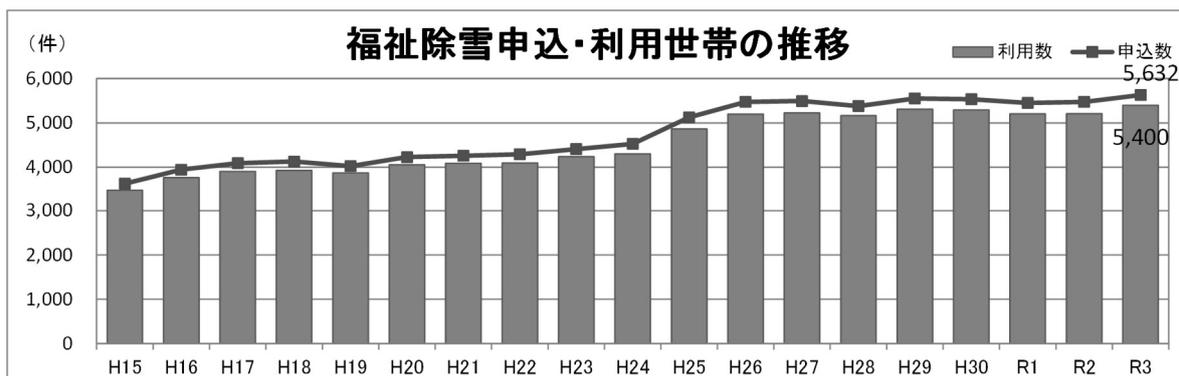
- I 活動状況
- II 利用世帯
- III 地域協力員
- IV 地域協力団体

令和4年6月

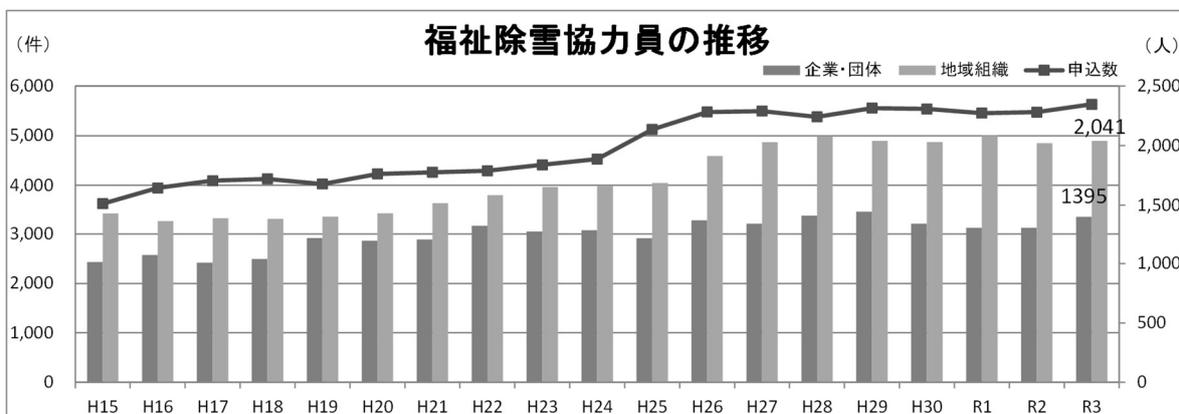
札幌市社会福祉協議会
地域福祉課

I 活動状況

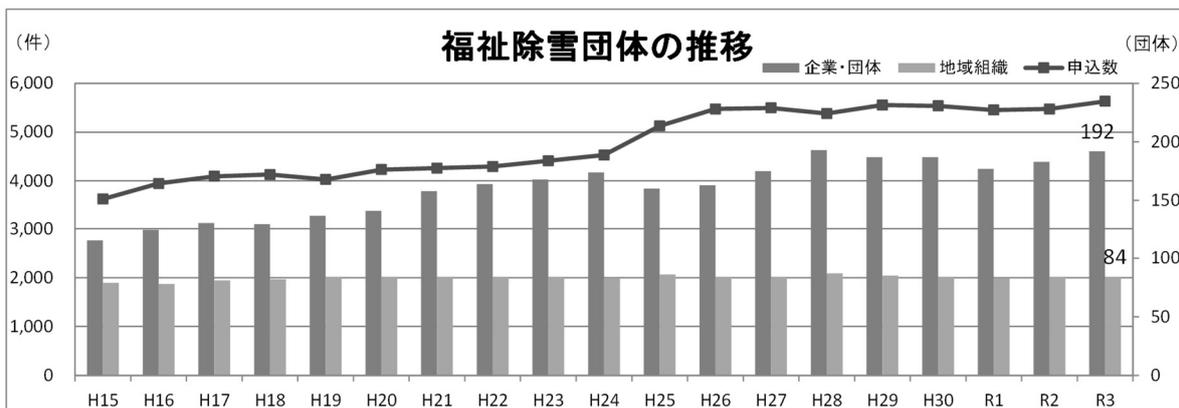
(1) 利用世帯



(2) 地域協力員



(3) 地域協力団体



- *各グラフの申込数および福祉除雪申込・利用世帯の推移の利用者数は冬季支援世帯の件数は含まない。
- *各回答の百分率は少数第2位を四捨五入しているため、個々の比率の合計が100%にならない場合がある。
- *利用世帯における申込数と利用数の差は、非該当(利用条件に合致せず利用不可となった世帯)や辞退(申込後、事業開始前に申請を取り下げた世帯)によるものである。

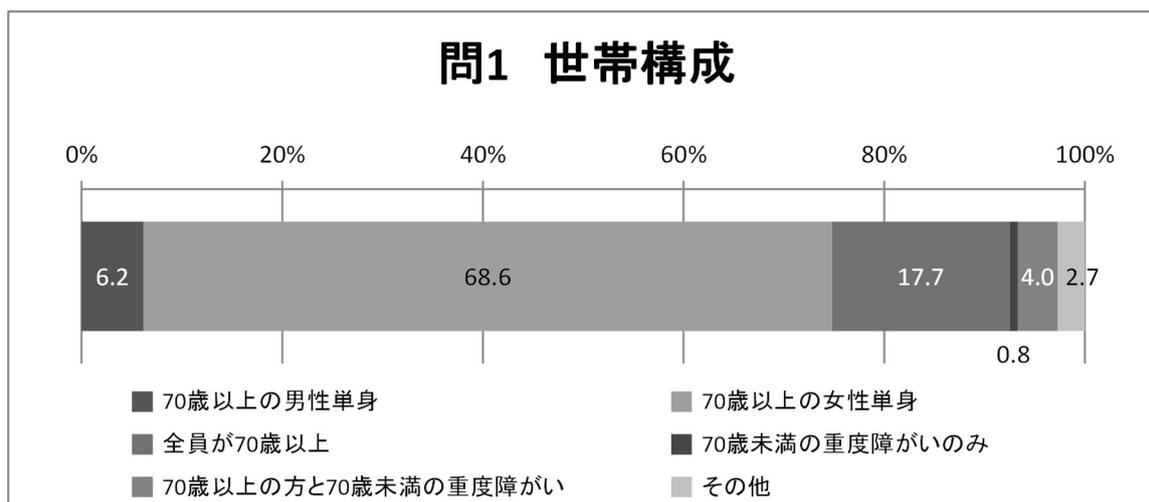
II 利用世帯

利用世帯「5,400世帯」から「500世帯」を無作為抽出し、令和4年4月にアンケート調査を実施したところ、「378世帯」から回答があった。（回収率75.6%）。

1. あなたの世帯について

世帯構成（問1）

「70歳以上の女性単身世帯」が68.6%と最も高い。また、「全員が70歳以上の世帯」の17.7%と「70歳以上の男性単身世帯」の6.2%を合わせると92.5%となり、『70歳以上のみの世帯』は9割を超えている。

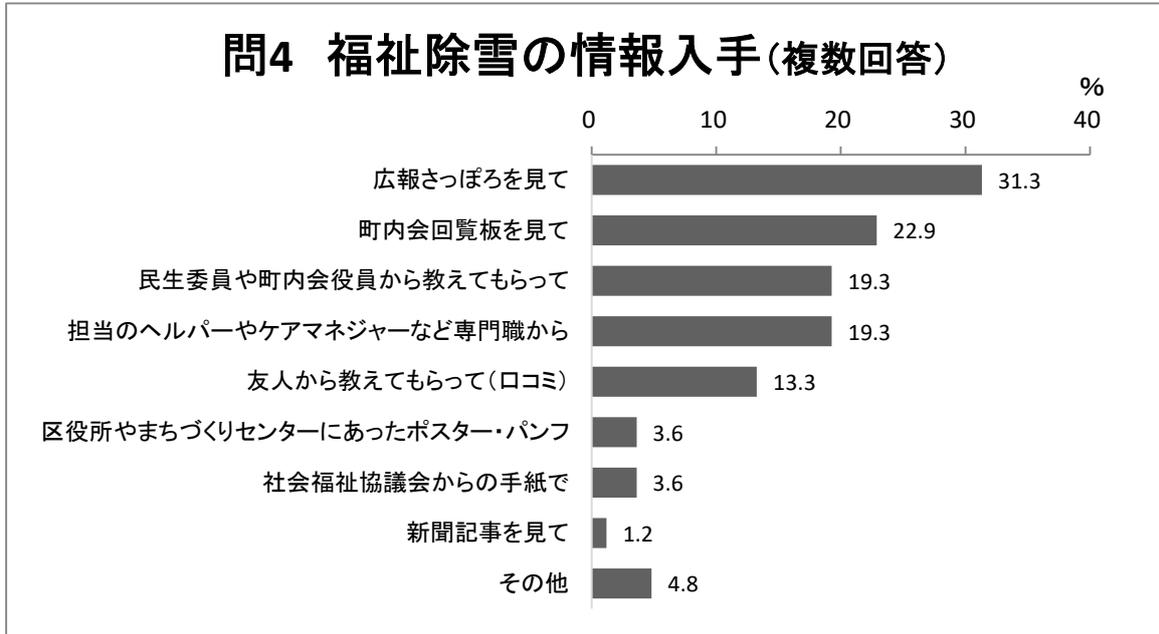


	70歳以上の男性単身	70歳以上の女性単身	全員が70歳以上	70歳未満の重度障がいのみ	70歳以上の方と70歳未満の重度障がい	その他	全体
R3	6.2%	68.6%	17.7%	0.8%	4.0%	2.7%	100.0%
R2	4.9%	70.1%	17.5%	1.9%	2.7%	3.0%	100.0%

2. 「福祉除雪」の利用について

(1) 福祉除雪を知ったきっかけ（問4、問3で「1この冬から初めて」を選んだ人）

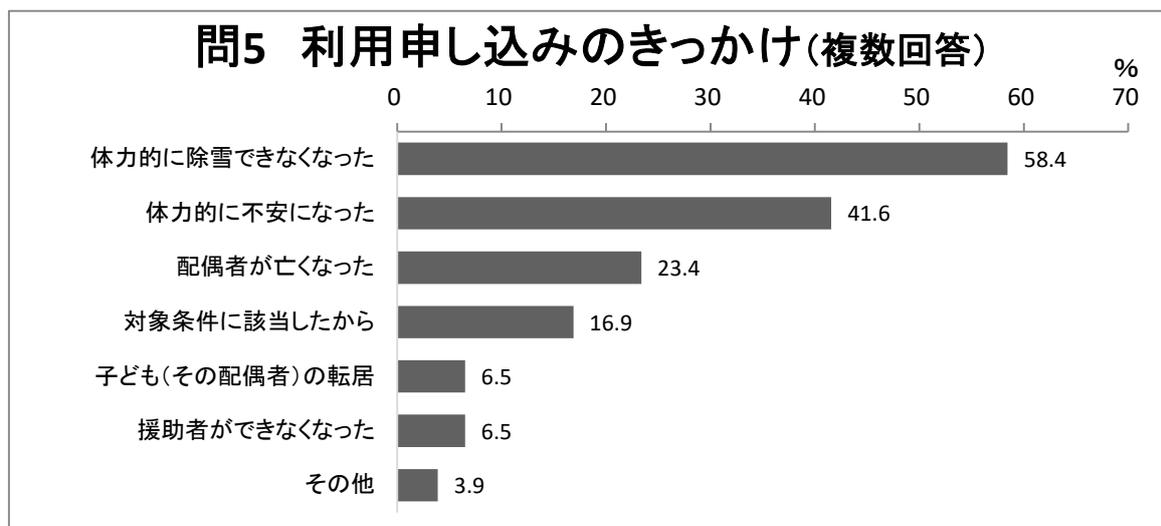
「広報さっぽろを見て」の31.3%が最も高く、次いで「町内会回覧板を見て」（22.9%）、「民生委員や町内会役員から教えてもらって」（19.3%）、「担当のヘルパーやケアマネージャーなど専門職から」（19.3%）、「友人から教えてもらって（口コミ）」（13.3%）となっており、市広報誌で情報を得たり、地域や身近な人から教えてもらったりするケースが多くみられた。



	R3	R2
広報さっぽろを見て	31.3%	30.6%
町内会回覧板を見て	22.9%	21.0%
民生委員や町内会役員から教えてもらって	19.3%	22.6%
担当のヘルパーやケアマネージャーなど専門職から	19.3%	19.4%
友人から教えてもらって（口コミ）	13.3%	16.1%
区役所やまちづくりセンターにあったポスター・パンフ	3.6%	4.8%
社会福祉協議会からの手紙で	3.6%	6.5%
新聞記事を見て	1.2%	1.6%
その他	4.8%	11.3%

(2) 利用開始のきっかけ（問5、問3で「1この冬から初めて」を選んだ人）

「体力的に除雪できなくなった」が 58.4%、「体力的に不安になった」が 41.6%と、『体力的な問題』で利用を開始した人が多く、いずれも4割を超えている。



	R3	R2
体力的に除雪できなくなった	58.4%	36.4%
体力的に不安になった	41.6%	37.7%
配偶者が亡くなった	23.4%	14.3%
対象条件に該当したから	16.9%	19.5%
子ども(その配偶者)の転居	6.5%	2.6%
援助者ができなくなった	6.5%	7.8%
その他	3.9%	2.6%

(3) 利用負担金額の評価（問6、問7）

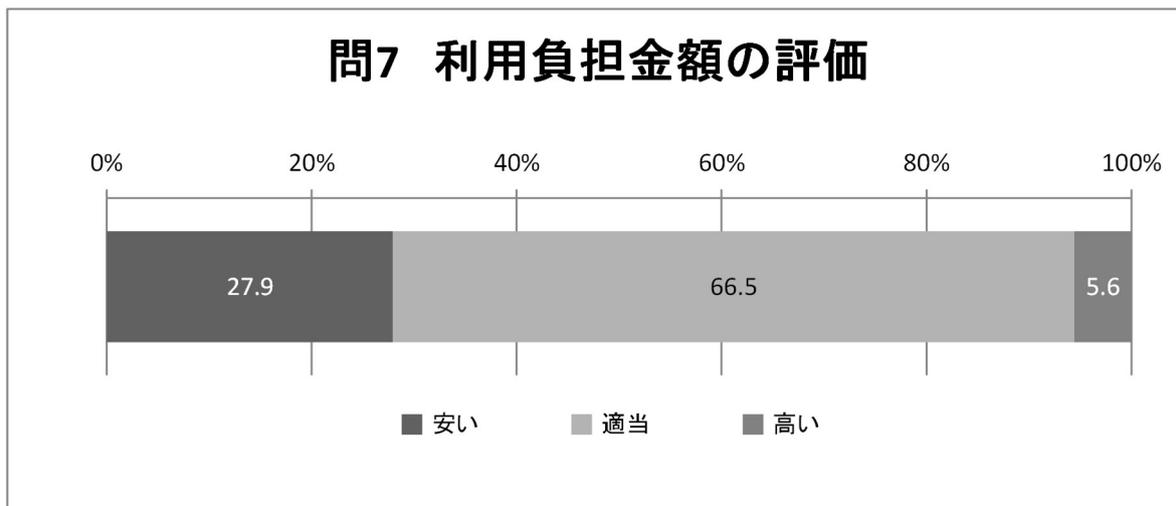
負担金額の区分別順位は、「非課税世帯」が 72.5%と最も高く、次いで「課税世帯」(25.5%)、「生活保護世帯」(1.9%)となっている。また、前年度と比較すると「無料」の割合が増加し、「課税世帯」「非課税世帯」の割合はともに減少している。

利用負担金額の評価では、「適当」が 66.5%と、約 7 割が妥当な金額と評価している。また、「安い」(27.9%)は、前年度に比べて 5.3 ポイント増加している。

これは、令和 4 年 1 月や令和 4 年 2 月に発生した大雪（令和 4 年 2 月は、観測史上 5 番目に多い 24 時間で 60cm の降雪を記録した）によって除雪の量や回数が増えたにも関わらず金額の変動がなかったため、相対的に「安い」と回答したものと考えられる。

	10,000円 (課税世帯)	5,000円 (非課税世帯)	無料 (生活保護世帯)	全体
R3	25.5%	72.5%	1.9%	100.0%
R2	26.1%	72.8%	1.1%	100.0%

問7 利用負担金額の評価



	安い	適当	高い	全体
R3	27.9%	66.5%	5.6%	100.0%
R2	22.6%	71.3%	6.2%	100.0%

負担金額の各区分における利用負担金額の評価の割合をみると、課税世帯・非課税世帯ともに「適当」の割合が最も高い（課税世帯 69.3%、非課税世帯 65.5%）。

	安い	適当	高い	全体
10,000円 (課税世帯)	21.6%	69.3%	9.1%	100.0%
5,000円 (非課税世帯)	30.2%	65.5%	4.4%	100.0%

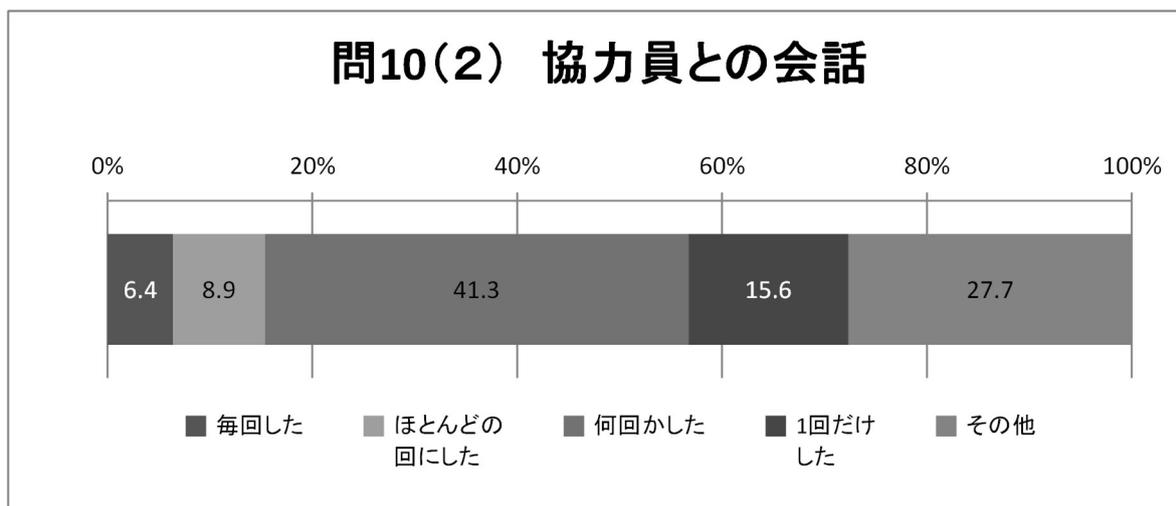
(4) 担当の地域協力員（問10(1)(2)）

担当の地域協力員は、「近所の人だった」が 54.1%と最も割合が高かった。前年度と比較すると「近所の人ではなかった」の割合は減少し、「近所の人か分からない」の割合は増加している。

協力員との会話については、「毎回した」(6.4%)、「ほとんどの回にした」(8.9%)、「何回かした」(41.3%)を合わせると約6割を占めているが、前年度(56.8%)と比べると会話する機会が減少している。また、「その他」には『早朝や夜間の作業だったため、会話をしたことがない』という回答が多く見受けられた。

	近所の人 だった	近所の人で はなかった	近所の方か わからない	全体
R3	54.1%	16.0%	29.9%	100.0%
R2	54.2%	16.7%	29.0%	100.0%

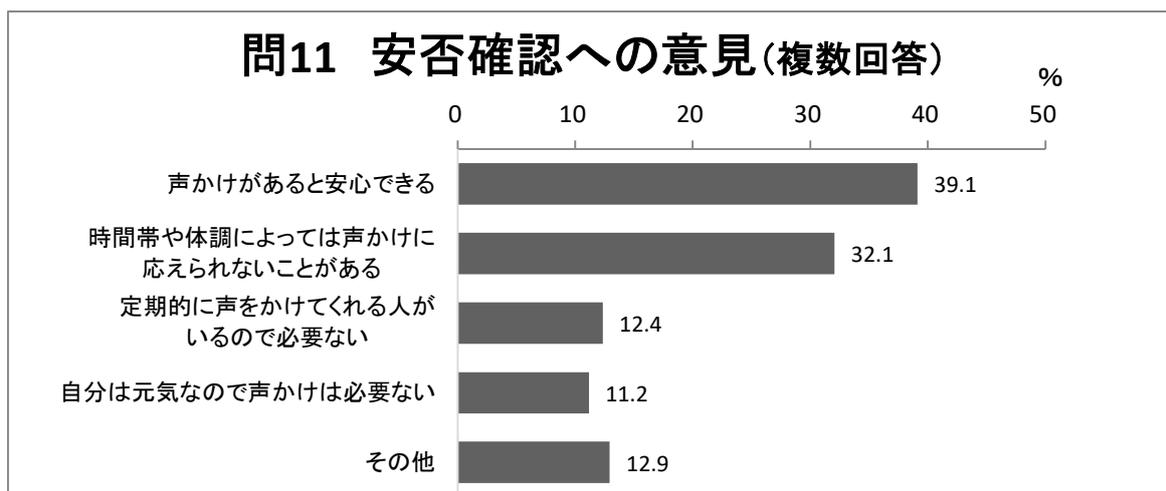
問10(2) 協力員との会話



	毎回した	ほとんどの回にした	何回かした	1回だけした	その他	全体
R3	6.4%	8.9%	41.3%	15.6%	27.7%	100.0%
R2	5.1%	11.6%	40.1%	13.6%	29.7%	100.0%

(5) 地域協力員による声かけ（安否確認）（問11）

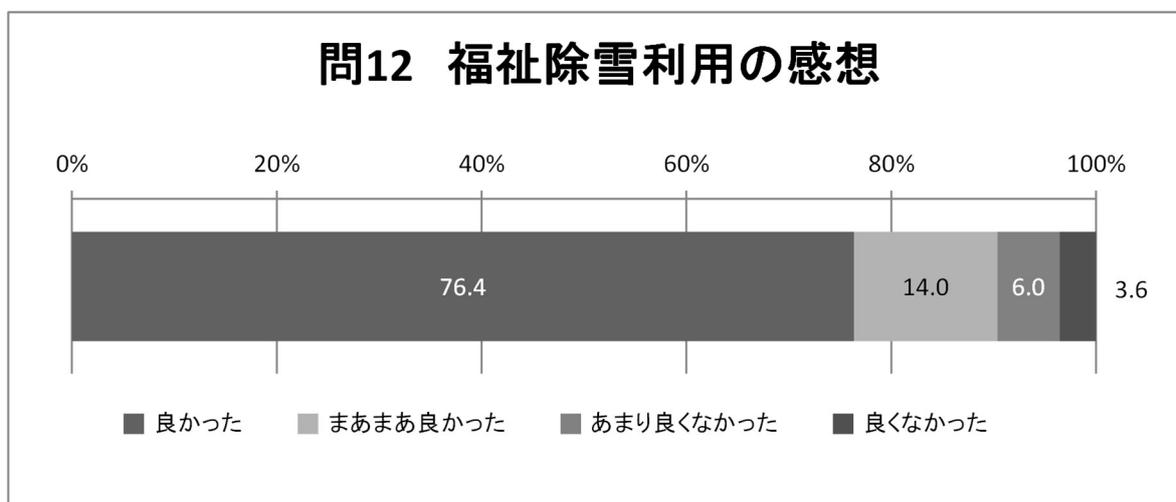
「声かけがあると安心できる」が39.1%と最も高く、次いで「時間帯や体調によっては声かけに応えられないことがある」（32.1%）となっている。一方で、「定期的に声をかけてくれる人がいるので必要ない」（12.4%）、「自分は元気なので声かけは必要ない」（11.2%）など、『声かけは必要ない』や、「その他」に『初回だけでも会って（除雪について）話をしたい』『終了の紙だけ入っている』などの回答も見受けられた。



	R3	R2
声かけがあると安心できる	39.1%	40.7%
時間帯や体調によっては声かけに応えられないことがある	32.1%	34.4%
定期的に声をかけてくれる人がいるので必要ない	12.4%	16.6%
自分は元気なので声かけは必要ない	11.2%	8.3%
その他	12.9%	12.2%

(6) 利用の感想（問12）

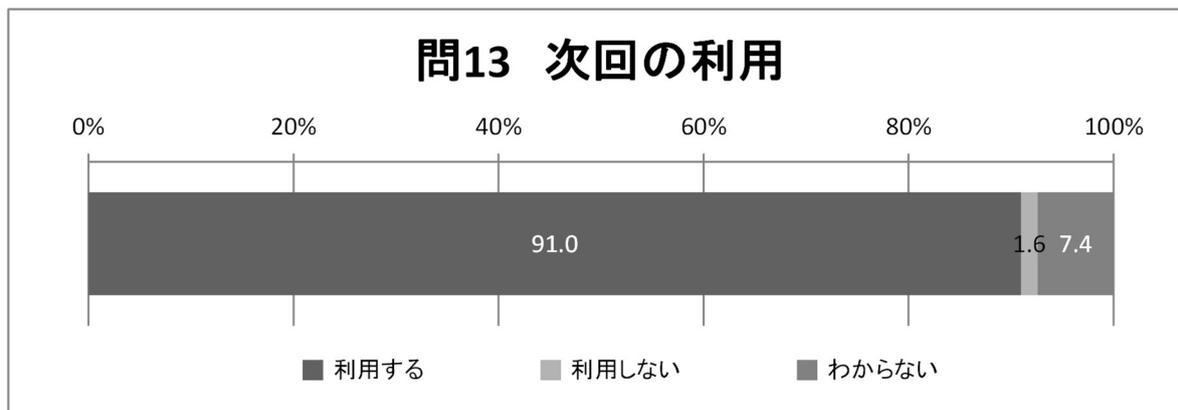
「良かった」が76.4%と最も高く、「まあまあ良かった」（14.0%）と合わせると、全体の約9割が『福祉除雪を利用して良かった』と感じている。



	良かった	まあまあ良かった	あまり良くなかった	良くなかった
R3	76.4%	14.0%	6.0%	3.6%
R2	81.8%	11.2%	5.0%	2.0%

(7) 次回の利用（問13）

「利用する」が91.0%と、約9割を占めている。また、前年度と比較すると「利用する」が減少し、「わからない」が増加している。



	利用する	利用しない	わからない	全体
R3	91.0%	1.6%	7.4%	100.0%
R2	92.8%	1.7%	5.5%	100.0%

(8) 福祉除雪についての意見（改善点）（問15）

主な意見抜粋

回答者数合計 246件（無回答・「特になし」を除く）

項目	内容	件数
感謝・ 継続利用	今年の雪は大変だったと思います。必ず来て頂き助かりました。いつ最後になる日かわからず、ごあいさつが出来ず残念でした。来年度もぜひ同じ方をお願いしたい気持ちが大きいです。	148
	今年は雪も多く回数も大変だし雪の捨て場もなく、本当に迷惑をかけたと思っています。でも毎回親切に除雪してくれたと思っています。この制度があって本当に助かりました。次回もお願いしたいと思っています。	
	いつもとてもきれいにしていただいて感謝しております。私は83歳で、一人暮らしで、その上朝寝坊なので、お会いするのをさぼっているのですが、早起きしてお礼のご挨拶をした方が良いのに、といつも思っています。すみません。	
改善・ 要望	今回福祉除雪のお世話になりました。雪が少ない時は外出（主に買い物・通院）は出来ましたが、大雪の後は除雪内容に満たない除雪のため、車を出せず大変不便で、不安な日々を過ごしました。福祉除雪のおかげで雪の不安を感じずに過ごすことが出来たら…と思っています。大雪の時は大変なご苦労とは思いますが、よろしくお願い致します。	55
	中学校の生徒さん達ということで、今年の2月に入るとコロナ感染症による学級閉鎖があったそうで、その間2週間ほどは福祉除雪がなく、ちょうどたまたま大雪の日が何度かありまして戸惑いました。特に今冬は大雪。前回以前には全てこのようなケースはなく、大変助かり感謝しております。我が家にとってはこの福祉除雪制度はとても利用しやすく、毎年助かっています。ありがとうございます。	
	個人的に料金を請求されたが、息子に相談して払わなかった。今後そのようなことはなくしてほしい。	
除雪時間 や回数	朝10時近くの除雪ですと、病院への通院、介護施設（8時40分ごろ）、ゴミ出し等に間に合わない。時間を早めていただきたい。大雪の中、何件も受け持っているご苦労には感謝します。80後半の一人暮らしを支えて頂きたいと、切実なお願いです。除雪の時、ピンポンと呼び鈴を押しただけでしたらありがたいです。	26
	なるべく同じような時間なら良いのですが、来てくれるかどうかかわからないので自分で投げていたので大変でした。大体の時間がわかると良いと思いました。	
	今年は特に雪が多く、2回ぐらい除雪していただけたら嬉しいです。会うこともできます。	
除雪範囲	週1度、ヘルパーさんに来てもらっています。去年は例年にない大雪で車が入れず、帰ってしまったことがある。前日だけでも間口広げて除雪をしてもらえないでしょうか。料金が変わっても間口を広げての除雪をしてもらうことは可能でしょうか。個人的に協力員の方をお願いしても良いでしょうか。福祉の除雪で限界はあると思いますが、何かしら回答いただけると幸いです。	24
	ありがたいのですが、費用がもう少し高くても80cm以上にしてほしい。	
除雪内容 に疑問	間違えて隣の家の除雪を2回したようです。隣の家の方に聞きました。あと夜9時に来たことがあり、家で除雪したのに「除雪しました」の置きメモがありました。ウソはやめてください。せめて朝8時前に除雪に来てほしいです。来るのが遅いです。	14
	せっかくの間口除雪なのに不十分な除雪で段差や歩行困難が生じ、利用効果が得られない。道路確保にもう少し配慮されたほうが良いと思う（今年は大雪で、短時間の除雪では無理だったのかな?）。	
その他	今年は雪が多かったのも、除雪して下さる時間が遅く、ご近所の方が心配して下さったり、除雪して良いものかどうか気に掛けて下さったりの冬期でした。	9
	近所の人で気をつかう。	

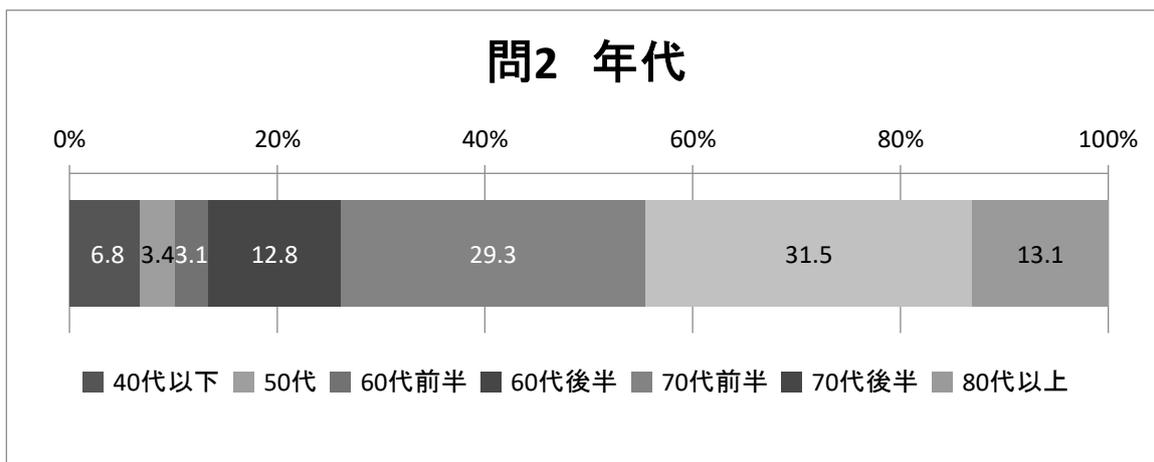
Ⅲ 地域協力員

地域協力員のうち、地域組織（主に利用者の近隣住民）の協力員（個人）「3,436人」の中から「500人」を無作為抽出し、アンケート調査を実施したところ、「413人」から回答があった。（回収率82.6%）

1. 自身のことについて

性別・年代（問1、問2）

性別は、「男性」が94.1%と約9割を占めている。年代は、『60代後半以上』が88.9%と約9割を占めている。中でも『70代以上』は約7割と、高齢者の割合が高い。



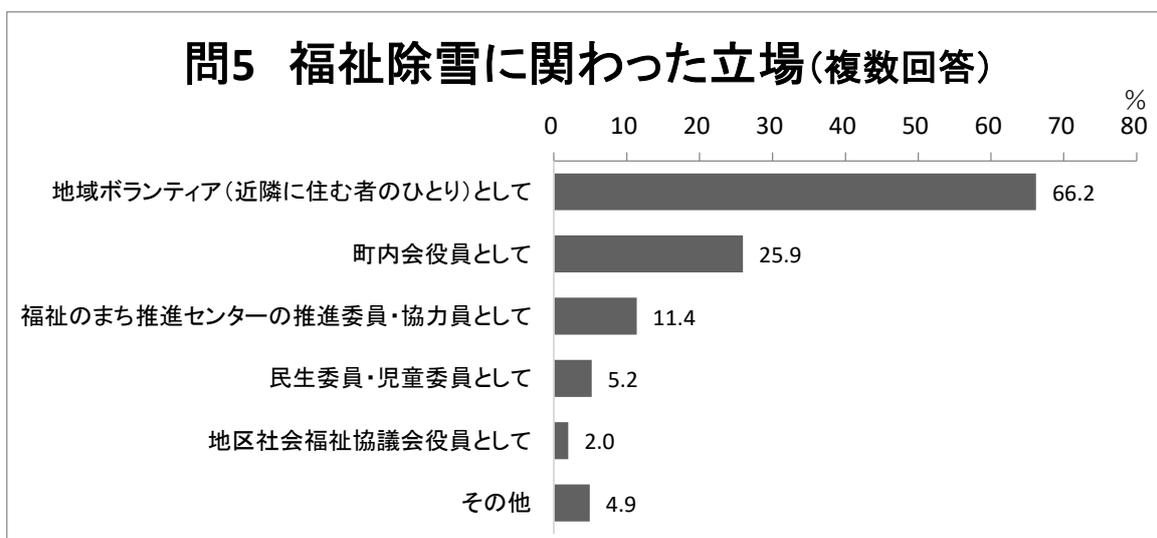
	40代以下	50代	60代前半	60代後半	70代前半	70代後半	80代以上	全体
R3	6.8%	3.4%	3.1%	12.8%	29.3%	31.5%	13.1%	100.0%
R2	4.1%	4.8%	2.3%	14.7%	31.1%	28.8%	14.3%	100.0%

2. この冬の福祉除雪活動について

(1) 協力の立場（問5）

「地域ボランティア（近隣に住む者のひとり）として」の立場で協力している人が66.2と、約7割を占めている。他には、「町内会役員」が25.9%、「福まち推進委員・協力員」が11.4%となっている。

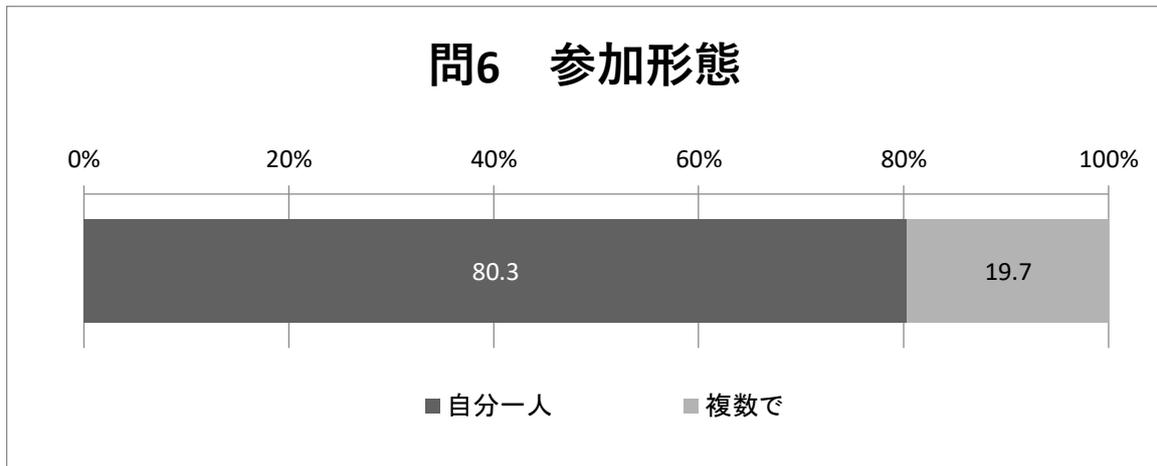
また、前年度と比較すると「福まち推進委員・協力員」「民生委員・児童委員」「地区社会福祉協議会役員」の割合が増加している。



	R3	R2
地域ボランティア（近隣に住む者のひとり）として	66.2%	71.3%
町内会役員として	25.9%	27.6%
福祉のまち推進センターの推進委員・協力員として	11.4%	9.8%
民生委員・児童委員として	5.2%	5.1%
地区社会福祉協議会役員として	2.0%	1.6%
その他	4.9%	3.7%

（２）参加形態（問６）

「自分一人」で参加した人が 80.3%と、約 8 割を占めている。

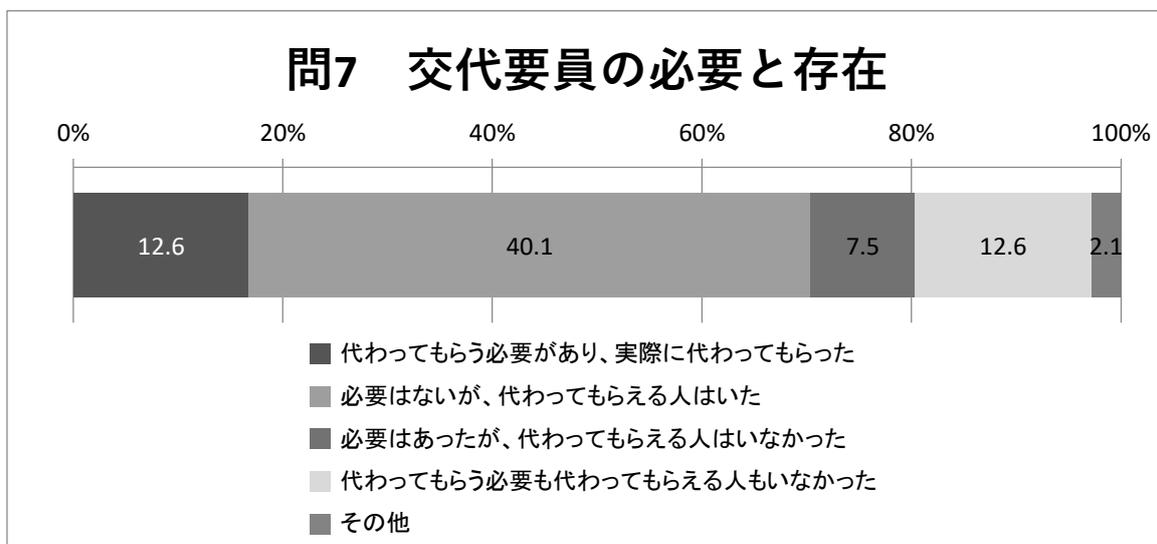


	自分一人	複数で	全体
R3	80.3%	19.7%	100.0%
R2	84.7%	15.3%	100.0%

（３）交代要員の必要と存在（問７、問８）

交代要員の「いた」人（「代わってもらいが必要があり、実際に代わってもらった」、「必要はないが、代わってもらえる人はいた」）は 52.7%と、約 5 割を占めている。一方、「必要はあったが、代わってもらえる人はいなかった」は 7.5%となっている。

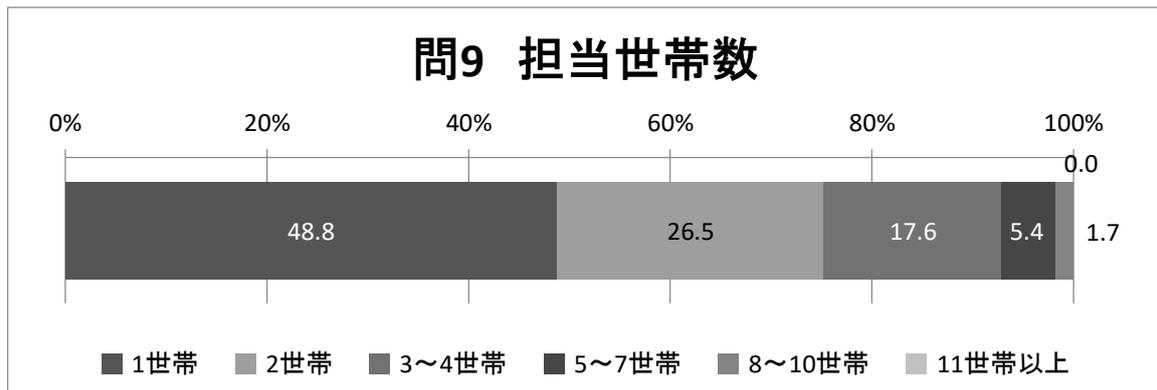
また、交代要員は「自分の家族」（62.4%）の割合が最も高く、次いで、「町内会の役員」（17.0%）、「その他の近所の人」（16.0%）となっている。



	R3	R2
自分の家族	62.4%	66.4%
町内会の役員	17.0%	17.8%
その他の近所の人	16.0%	1.4%
同じグループの人	11.3%	3.3%
利用世帯の家族	2.6%	6.5%
福祉のまち推進センターの委員	1.5%	18.2%
民生委員・児童委員	1.0%	1.4%
その他	1.0%	2.3%

(4) 担当世帯数 (問9)

「1世帯」が48.8%と、約半数を占めている。また、前年度と比較すると「1世帯」「11世帯以上」を除く全ての項目で、割合が増加している。

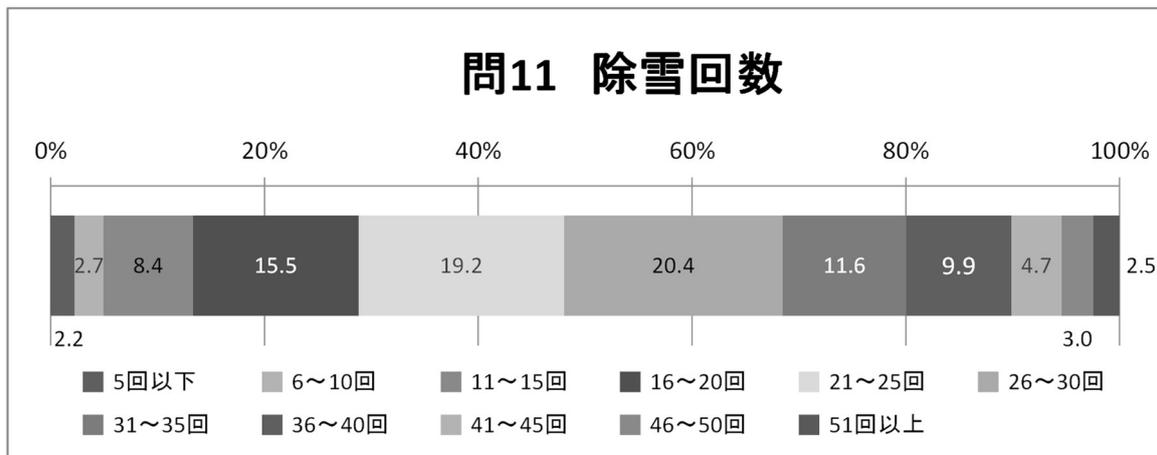


	1世帯	2世帯	3~4世帯	5~7世帯	8~10世帯	11世帯以上	全体
R3	48.8%	26.5%	17.6%	5.4%	1.7%	0.0%	100.0%
R2	52.5%	23.5%	17.1%	4.4%	1.4%	1.2%	100.0%

(5) 除雪回数 (1世帯あたり平均 問11)

「26~30回」が20.4%と最も高く、次いで「21~25回」(19.2%)、「16~20回」(15.5%)、「31~35回」(11.6%)となっている。

特に『21回以上』は71.2%と、週2回以上の頻度で除雪を実施する協力員は約7割いることが伺われる。

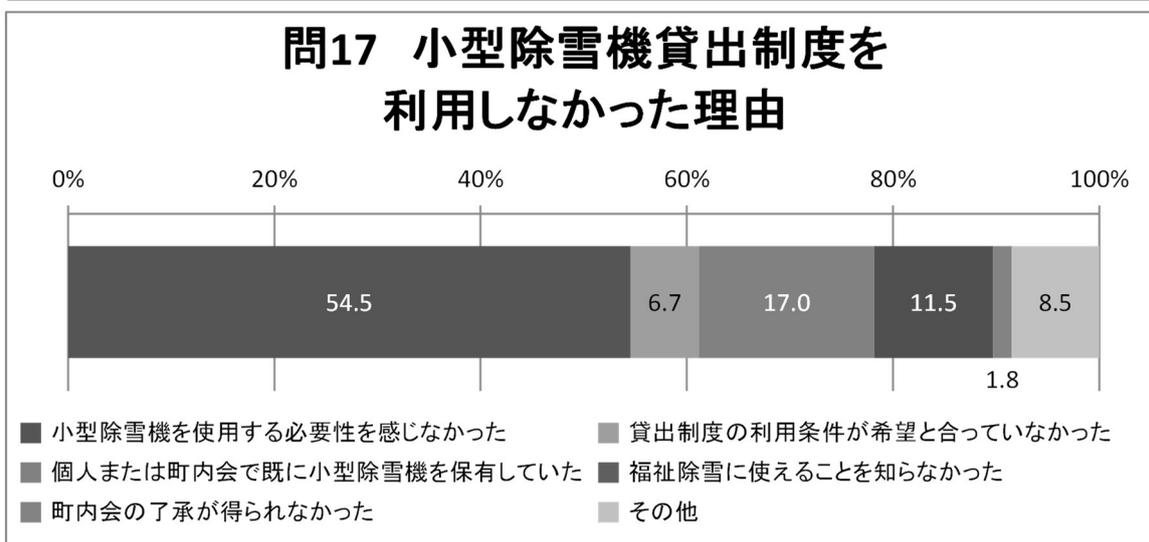
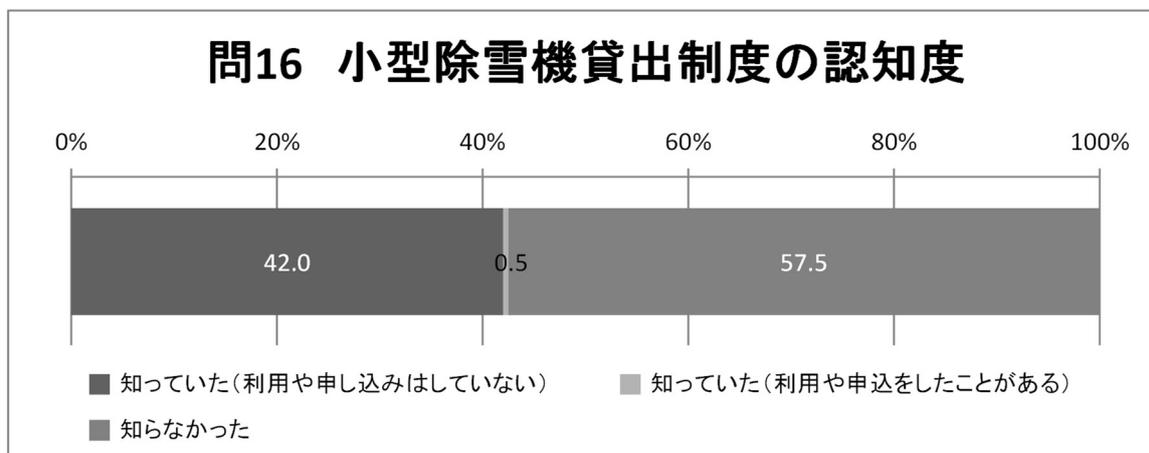


	5回以下	6~10回	11~15回	16~20回	21~25回	26~30回	31~35回	36~40回	41~45回	46~50回	51回以上	全体
R3	2.2%	2.7%	8.4%	15.5%	19.2%	20.4%	11.6%	9.9%	4.7%	3.0%	2.5%	100.0%
R2	0.7%	4.8%	17.2%	19.2%	22.4%	14.6%	8.7%	5.5%	3.7%	0.9%	2.3%	100.0%

(6) 小型除雪機貸出制度を利用しなかった理由 (問16、問17)

小型除雪機貸出制度を「知らなかった」人は57.5%と最も高く、「知っていた(利用や申し込みはしていない)」(42.0%)と合わせると、『利用していない』人は9割超となっている。

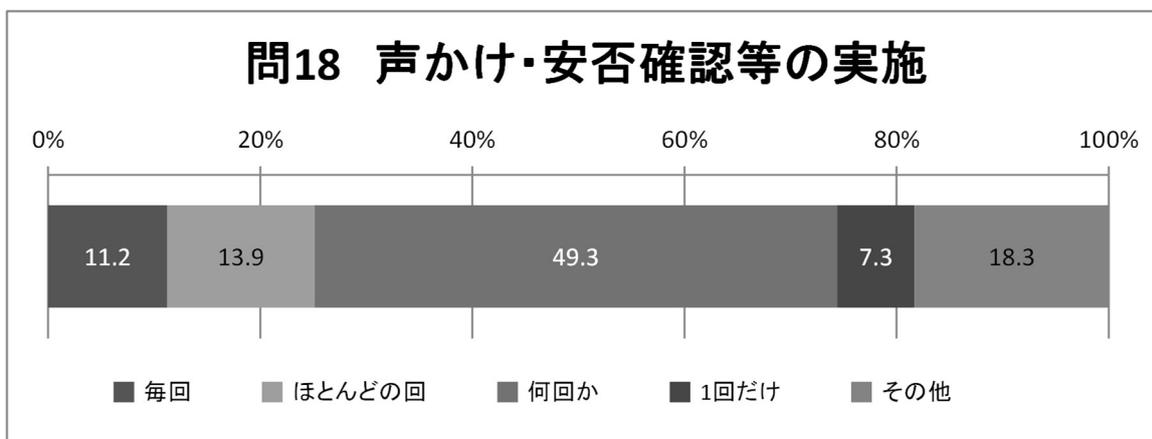
また、利用しなかった理由としては、「小型除雪機を使用する必要性を感じなかった」の割合が54.5%と最も高かった。



(7) 声かけ・安否確認（問18）

「何回か」が49.3%と、約半数を占めている。一方、「毎回」（11.2%）と「ほとんどの回」（13.9%）を合わせた『日常的な声かけ』は25.1%と、約3割であった。

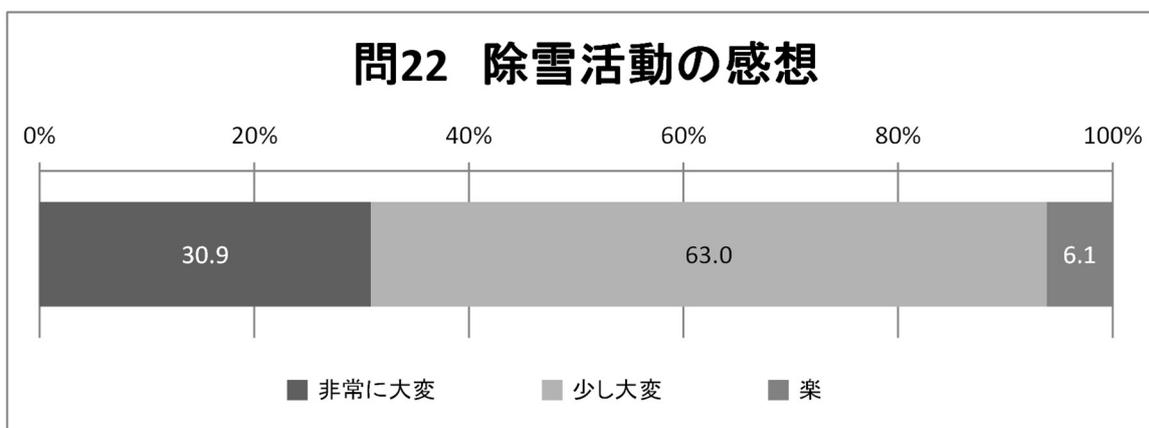
また、「その他」には『朝早いのでしなかった』『郵便受け・新聞等で確認』などの回答が多く挙げられた。



	毎回	ほとんどの回	何回か	1回だけ	その他	全体
R3	11.2%	13.9%	49.3%	7.3%	18.3%	100.0%
R2	11.7%	12.9%	51.7%	6.4%	17.2%	100.0%

(8) 除雪活動の感想（問22、問23）

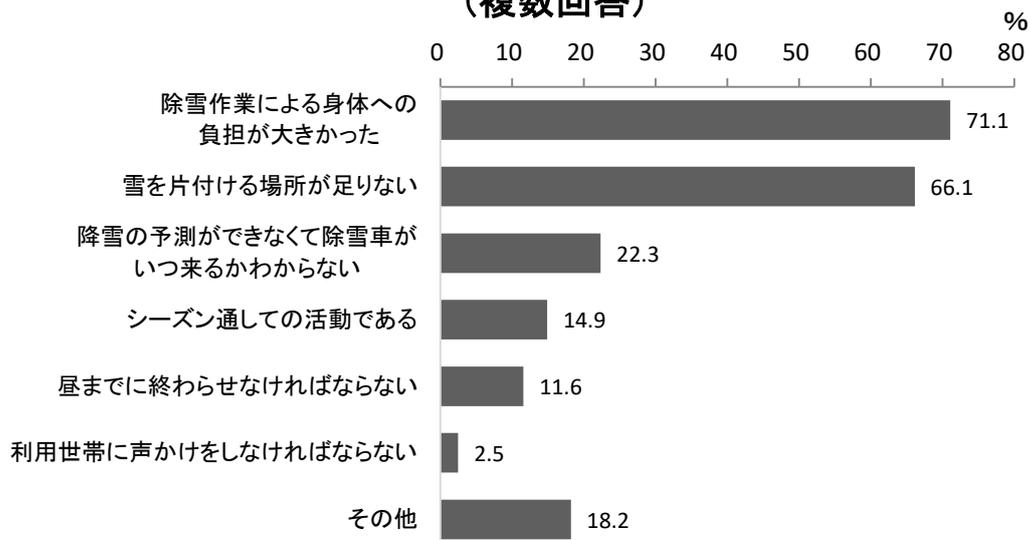
「少し大変」が63.0%と約6割を占め、次いで「非常に大変」が30.9%となっている。「非常に大変」である理由として、「除雪作業による身体への負担が大きかった」（71.1%）、「雪を片付ける場所が足りない」（56.1%）が特に多くあげられた。



	非常に大変	少し大変	楽	全体
R3	30.9%	63.0%	6.1%	100.0%
R2	10.2%	72.1%	17.7%	100.0%

問23 除雪作業が非常に大変である理由

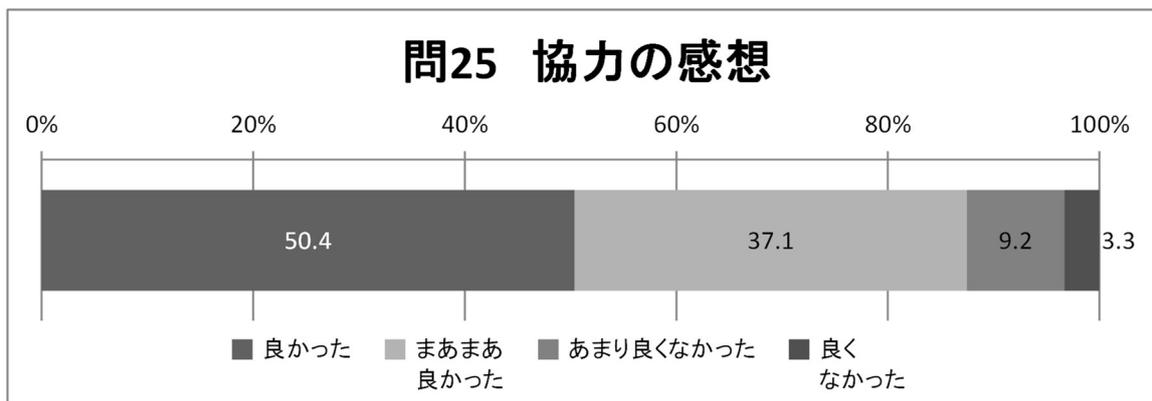
(複数回答)



3. 福祉除雪事業への参加について

(1) 協力の感想 (問25)

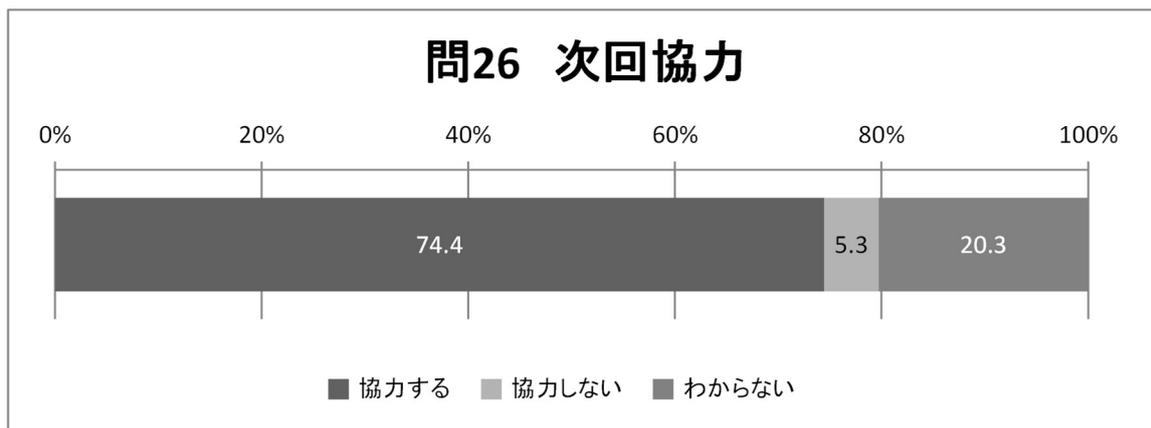
「良かった」「まあまあ良かった」を合わせると87.5%となり、約9割の人が良かったと回答している。



	良かった	まあまあ良かった	あまり良くなかった	良くなかった	全体
R3	50.4%	37.1%	9.2%	3.3%	100.0%
R2	60.0%	35.2%	4.3%	0.5%	100.0%

(2) 次回協力 (問26)

「次回も協力する」は74.4%と、約7割となっている。



	協力する	協力しない	わからない	全体
R3	74.4%	5.3%	20.3%	100.0%
R2	84.8%	3.0%	12.2%	100.0%

(3) 協力しない理由 (問27、問26で「協力しない」と回答した方限定)

主な意見抜粋

回答者数合計 21件

項目	内容	件数
体力的・身体的	10年以上協力して82歳になり、令和4年除雪中(途中、除雪車の作業後と)路面がスケート場のように滑りやすく、何回転倒したか。また、除雪担当宅玄関で転倒して、第1腰椎圧迫骨折で1か月間入院した。	16
	病気(高血圧)になり協力が不可能。隣の家はできるだけ協力したいと思う。	
	今年70歳になり、体への負担を感じるようになりました。自分の家の除雪もしなければなりません。今年で卒業したいと思います。	
転居	埼玉県に引っ越した。	1
多忙	他のアルバイトがあるため。	1
その他	担当世帯決定に不透明があります。とにかく大変でした。	3
	オリンピックに予算3億もつけるようなら福祉に回してください。やる気がなくなりました。	

(3) 「福祉除雪についての意見（改善点など）（自由記入）（問28）」

主な意見抜粋

回答者数合計 230 件（無回答・「特になし」を除く）

項目	内容	件数
課題・要望	雪かき用品は、原則協力員の私物を使うよう言われましたが、利用者の用具を使うことが出来れば通うのが楽かな、と思われます。今年のように大雪の場合、スノーダンプと雪かきの二つを担いで行っていました。	77
	年末年始など決まった日付に除雪免除などにしていただけたら、もう少し気軽に参加しやすいかなと思いました。	
	物置前の除雪は生活をしていく上で必要性が高いと思います。福祉除雪の内容に加えてはどうでしょうか。	
	除雪の手当が安すぎです。場所で違うと思いますが、何とも元気が出ないです。	
やりがい・達成感	利用者から除雪の度、お礼の言葉が返ってきます。私も身体の続く限り協力していきたいと考えています。	44
	3 月末にお会いしたときに「本当に助かりました」と言われたときに、やってよかった、来年もやろう、という気持ちになりました。	
	今年は大雪で大変でしたが、ボランティアだと考えています。自分の身体が大丈夫なら、またお手伝いしようかと思っています。	
基準外の除雪	利用者さんから言われたことがプレッシャーになっています。「以前、業者さんが福祉除雪で入った時は、雑で時間も短かったから、奥さんは丁寧で、車庫の前までやってくださって、ヘルパーさんも車を駐車しやすく助かっています」。車庫前の雪かきを最初にしたときにこのようにほめてくださり、車庫前をやる時はほぼ雪かき致しました。頼まれてはいませんが、頼まれているような感じです。	37
	間口から道路まで、ついつい道路幅を広くするため、サービスでやる。一時的ですが。利用者が玄関～、この規制あまり知らないみたい。	
	除雪の規格通りにはいかないことがあり、利用者からリクエストがあれば断れない。地域福祉係の担当者も現地・現物を確認され、福祉除雪者に協力・アドバイスが必要と思います。	
除雪車の出動	今年は 2 月末～3 月初旬に特に雪が多く、路地通路の除雪が悪く、車が度々トラブルになり、他の通行の妨げになっていたことが多い。積雪 10cm で除雪となっているが、全く守られていなく、業者の都合で除雪しているように感じる。除雪について市よりの指導をお願いします。除雪の時間帯等再検討の必要ありと考える。	30
	町内に 10cm 以上雪が降った時の除雪の件。雪の処理をしているところに置いていく。大量に積んであるところは変わらず。車いすの出入りする家の前には除雪の雪は置かないような表示ができないのか。	
大雪による影響	市の除雪はショベル等で家の玄関前へ雪の塊が多く、今年の雪が多いので置き場がなく、上へ上へと積み上げるのが大変だった。	26
	今年は雪が多く、短時間に多量の降雪もありました。除雪本来のタイミング（除雪車出動の翌日午前中）を守るのは困難でした。出動前の夕方や午前の降雪は午後を除雪する等、状況にあわせて実施しました。	
制度の周知	朝も早く、学校に通学前に行って除雪したり、夜も除雪したりしていたのに、3 月の大雪の時に、利用者の方に「もっと早く来てほしい」と言われました。その日は学校に行くのも大変な大雪だったのに。いつもとは違って除雪も大変な日なので、少しいやな気持ちになりました。	17
	町内会に広く呼び掛けてはどうでしょうか。町内会役員でもこういう活動が行われていることを知らない人がほとんどです。	
協力員	一部中学生のグループをお願いしていたところがあるが、「除雪に来ない」「時間が遅い」との苦情があった。	15
	自分の年齢的にきついと思う。新しい人と交代してもらいたい。	
その他	同一町内会（同じ班）なので、見守りにもなり、利用者ともコミュニケーションが取れたので良かったと思います。	20
	担当したお宅のご主人（高齢者）がとてもキレイに除雪される方で、こちらも勉強になりました。が、当方は気を使いながらの作業でした。	

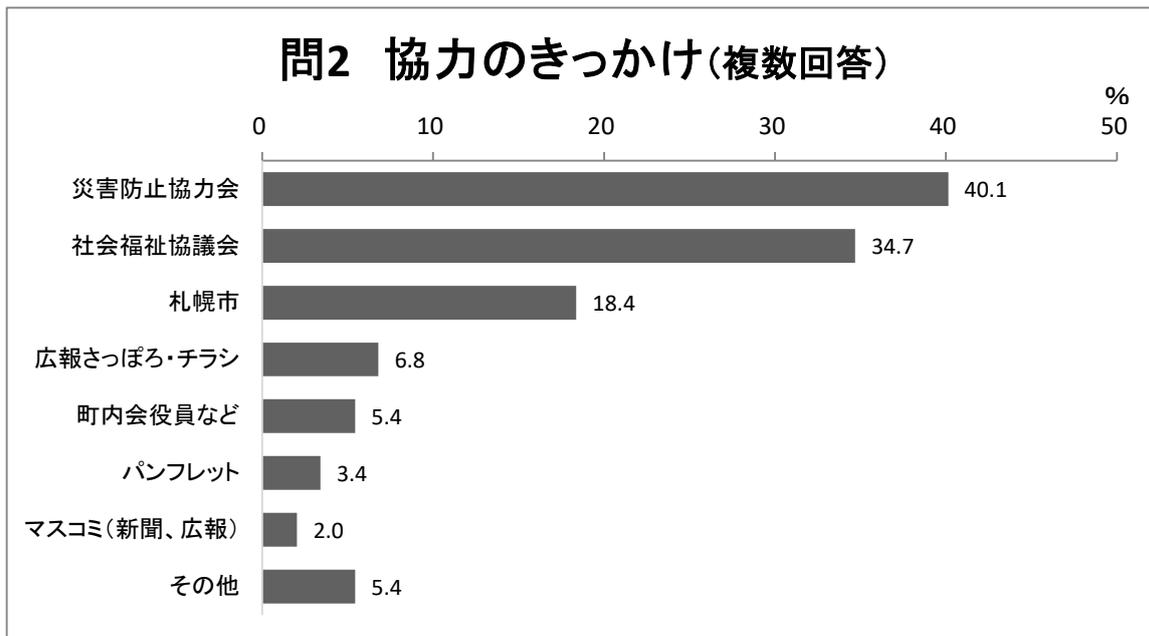
IV 地域協力団体

地域協力員のうち、地域協力団体（NPO、福祉施設、学校、地域企業、防災協）の協力員「192 団体（区間で重複する企業等を除く）」全てを対象にアンケート調査を実施したところ、「148 団体」から回答があった。（回収率 77.1%）

1. 団体について

(1) 協力のきっかけ（問2）

「災害防止協力会」が 40.1%と最も高く、次いで「社会福祉協議会」が 34.7%と、関係団体からの協力要請の割合が高い。他には、「札幌市」が 18.4%、「広報さっぽろ・チラシ」が 6.8%となっている。

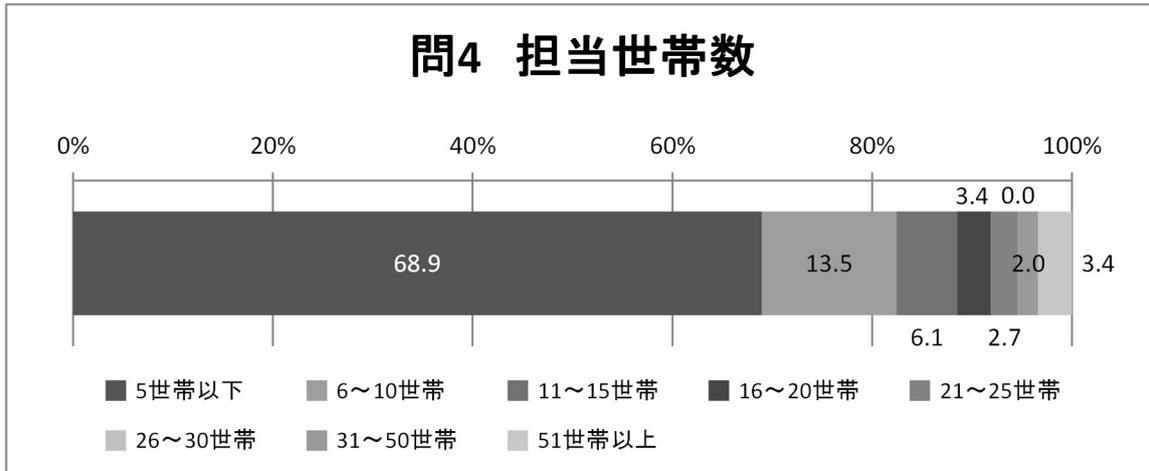


	R3	R2
災害防止協力会	40.1%	39.6%
社会福祉協議会	34.7%	35.7%
札幌市	18.4%	15.6%
広報さっぽろ・チラシ	6.8%	7.8%
町内会役員など	5.4%	5.2%
パンフレット	3.4%	5.2%
マスコミ(新聞、広報)	2.0%	1.3%
その他	5.4%	4.5%

2. 除雪を担当した利用世帯について

(1) 担当世帯数 (問4)

「5世帯以下」が68.9%と、最も高くなっている。また、「6～10世帯」の13.5%と合わせると、『10世帯以下』は約8割を占める。

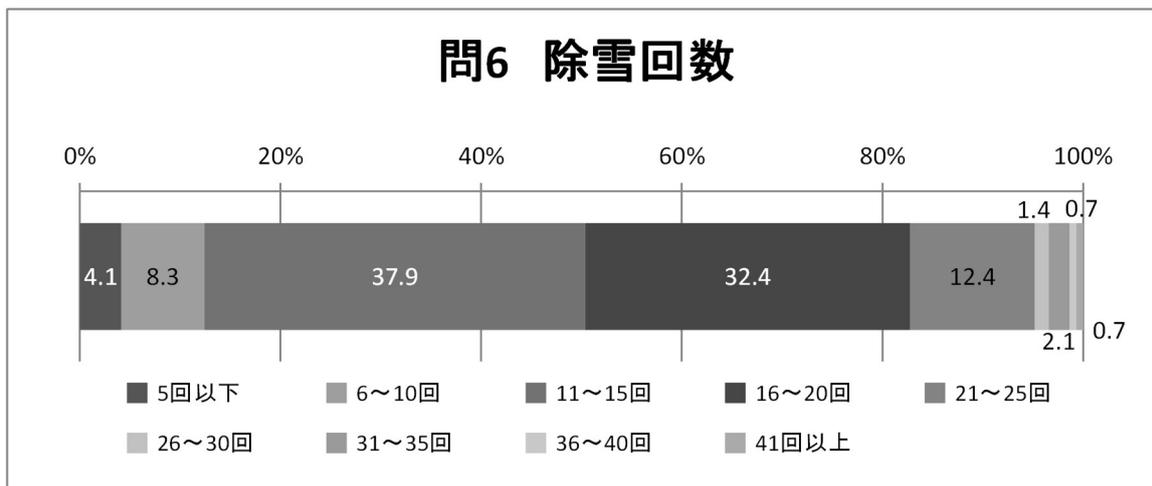


	5世帯以下	6～10世帯	11～15世帯	16～20世帯	21～25世帯	26～30世帯	31～50世帯	51世帯以上	全体
R3	68.9%	13.5%	6.1%	3.4%	2.7%	0.0%	2.0%	3.4%	100.0%
R2	64.1%	17.9%	4.5%	3.8%	3.2%	0.6%	3.2%	2.6%	100.0%

(2) 除雪回数 (1世帯あたり平均) (問6)

『15回以下』と回答した割合の合計は50.3%と、約半数を占めている。また、前年度と比較すると、『15回以下』の除雪回数は減少しているものの、『16回以上』の割合が増加している。

令和4年2月には観測史上5番目の多さ(24時間で60cmの積雪)を記録するほど、今年度の降雪量は例年より多く、一日に複数回除雪するなどの対応を実施したことによって回数が増加したものと考えられる。

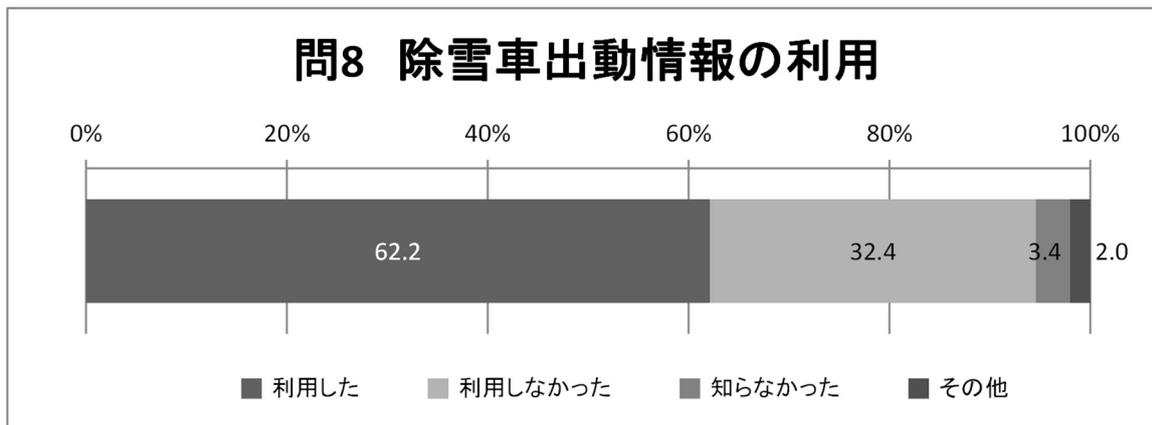


	5回以下	6～10回	11～15回	16～20回	21～25回	26～30回	31～35回	36～40回	41回以上	全体
R3	4.1%	8.3%	37.9%	32.4%	12.4%	1.4%	2.1%	0.7%	0.7%	100.0%
R2	4.5%	15.4%	48.1%	25.0%	5.8%	0.0%	0.6%	0.6%	0.0%	100.0%

(3) 除雪車出動情報の利用（問8、問9）

出動情報を「利用した」は62.2%と、約6割であった。

利用の評価については、「大変役立った」と「まあまあ役立った」を合わせて97.8%と、利用したほとんどの団体が「役立った」としている。

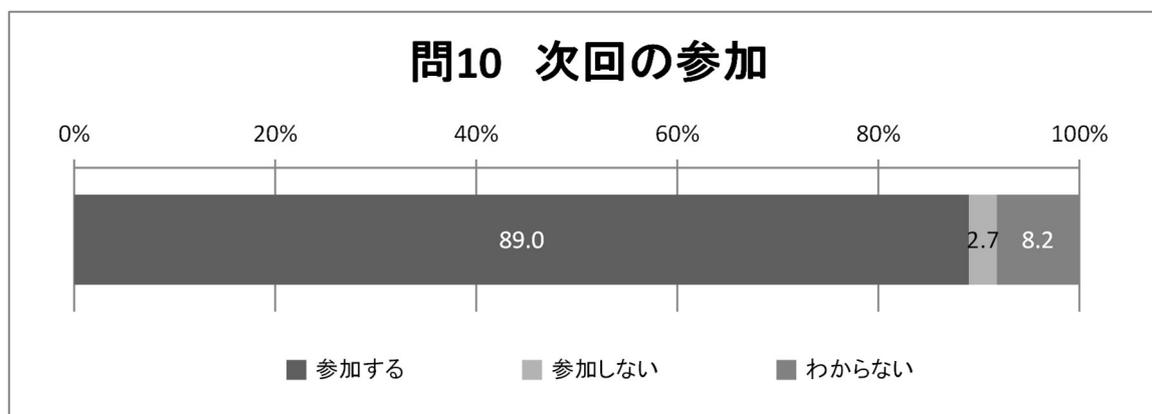


	大変役立った	まあまあ役立った	役立たなかった	その他	全体
R3	55.1%	42.7%	0.0%	2.2%	100.0%
R2	62.6%	36.3%	0.0%	1.1%	100.0%

3. 次回以降の福祉除雪について

(1) 次回の参加（問10）

「参加する」が89.0%と、約9割を占めている。



	参加する	参加しない	わからない	全体
R3	89.0%	2.7%	8.2%	100.0%
R2	90.4%	2.5%	7.0%	100.0%

(2) 参加しない理由（問11、問10で「参加しない」と回答した方限定）

主な意見抜粋

回答者数合計 3件（無回答を除く）

項目	内容	件数
人員確保が困難	人手不足（老人ばかりなので、次回から参加しないつもりです）。	3
	零細企業のため、人員の確保ができない。	
	会社で行っているが、残業規制や働き方改革が重しになって、社員を使つての除雪が無理になってきた。	

(2) 福祉除雪についての意見（自由記入）（問12）

主な意見抜粋

回答者数合計 47件（無回答・「特になし」を除く）

項目	内容	件数
要望・課題	数年前に福祉除雪を行っていたお宅の前を車で通りたかったのですが、間口部分が埋まっており、2m程の雪山が堆積していた。家人の出入りはその雪山をよじ登らなければならず、大変な状態となっていた。ここ数年は福祉除雪を利用していない状況であると思われるので（体力面？精神面？金額面？）、もっと継続して利用できるような体制づくりを希望します。	26
	距離の長いところや玄関前に落雪のある世帯は福祉除雪（ボランティア）の範囲を超えていると思うので、別に考えてください。	
	今季は札幌市の除雪方法にて、ご利用者の場所にたどり着けなかったりします。来期も除雪方法が同じであれば、申し込み者様の理解をいただいた方が良いかと思われます。ありがとうございました。	
	相手側の方と会話する機会を作った方がいいのではないのでしょうか。話をすることで、その人が抱えている不安を和らげられるかもしれません。安否確認もできますので、検討する価値はあると思います。	
	民生委員の方とかにも意見交流をし、独居老人の方にも福祉除雪制度の利用を促した方がいいと思う。	
やりがい・達成感	利用者の皆様よりお礼の言葉をいただけて、大変やりがいのあるものだと感じました。	12
	記念品のような粗品のなもの、年度が入ったマスコットみたいなものを配ると、やる人の気持ちも上がるのでは？並べて、今年は何年目とかがすぐ分かる。	
利用世帯の理解不足	新規の申請者への福祉除雪の説明をよろしくお願い致します。稀に制度を理解していただけない方もいらっしゃるのので「このような作業はできません」的な案内も必要ではないのでしょうか。協議会様の対応には感謝申し上げます。	8
	子どもが同居していたり、近隣に住んでいるにもかかわらず値段が安いからと言って利用したりする方がいる。本当に困っている方々のために福祉除雪があると思う。	
その他	協議会のご担当者様には、何かある都度対応していただきまして、円滑に福祉除雪を行うことができました。ありがとうございました。	4